

だ み よ く り に

No.735 令和 5 年 3 月 1 日発行



「きよか」

春の訪れを少しずつ感じるようになってきました。春は3段階あると言われていますが、今は2段階目の「音の春」でしょうか。春はいっぺんにやって来るのではなく、光→音→気温という三つの段階を経てやってくるそうですね。だんだんと日差しが強まってくる「光の春」、雪解けが進んで雪解けの音やそれによって増水した川の音など季節が動く音がする「音の春」、気温が上がる「気温の春」。気温だけでなく心も温まるような春が早く訪れてほしいです。寒暖差がある時期ですので、どうぞお体にお気をつけください。

段階を経るとは、成長と似ていますね。成長といえば、観葉植物。我が家では数十種類の観葉植物を育てています。それぞれに合った光の当たり具合を見極めて適切な場所に置く、風を好むものには風を当てる、品種に合った頻度で水をあげる……。こまやかさと根気が必要です。本来、観葉植物は成長がゆっくりという印象がありますが、我が家では観賞というより育てることを楽しんでいるので、成長が早いほうかもしれません。といっても主に育てているのは家族で、わたしは観ること専門です。そんなわたしはつい、成長を見落としがちです。気づいたときには、成長後。「ここに新芽が」「こんなに葉の数が増えている」……と「過程を見ていなかった」と気づいたときにはもう遅いのですね。戻って見ることはできません。一見気づきづらいほど少しずつ、確実に、育てているのですね。だからこそ、しっかりと目を開いて見ていないとなりませんね。保育と一緒。

さて、先日は、幼児クラスは参観・懇談会を、乳児クラ

スは外遊び見学会を行いました。お会いできた方々から、喜んでらっしゃる声が多く聞かれ、嬉しく思いました。今年度は工事、引っ越しがあり、「決して何かあってはいけない」という普段以上の思いで過ごしてきました。ですので、こうして皆さまが喜んでらっしゃるのを見聞きしたり、一緒にお子さまについてお話できたことは、とても嬉しいことでした。お忙しい中、お越しいただき、ありがとうございました。お子さまだけでなく保護者の皆さまにとっても有意義な一年であることは心からの願いです。

3月は卒業シーズン。以前、参加していた小学校の卒業式。そこで子どもたちのある合唱を聞くと涙が頬を伝っていました。自分も歌ったことがある「ビリーブ」。優しい言葉が並んだ歌詞。子どもたちにはこの心持ちで、前に前に進んでいってほしいと願います。

そして、みくに学園を卒園する時に贈るこの言葉もいつまでも覚えていてほしいです。

「きよか」よく聞く、よく読む、よく考える、の頭文字です。お子さまが生きていく中で大事にしてほしいことです。心に残っていれば、私たち保育者の代わりにいつか力になってくれることと思います。

保護者の皆さま、みくに学園にとって節目となる今年度はご不安も多かったことと思います。たくさんのご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。大事なお子さまと過ごさせていただく喜びと責任を抱きつつ、お子さまのますますの成長をこれからも心より願っております。